

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2009/02/02 駐在員：宮村 佐衣子

【オバマ大統領就任式】

1月20日(火)バラク・オバマ前上院議員の大統領就任式がワシントンDCで開催されました。

世界中から約200万人が集結したと言われていますが、実際、私も行って見て、その人の多さと人々の熱狂ぶりに驚きました。

街を歩く3人に1人くらいは警察官で、いたるところにパトカー、パトバイク、パト自転車がありました。

道路でもお店でもオバマ大統領にちなんだグッズがたくさん販売され、バッジ、Tシャツ、マグカップ、トランプ等あらゆるものにOBAMAと書かれて売られていました。選挙前はYes we can!というキャッチコピーが主流でしたが多くはYes we did!に変わっていました。オバマソングというCDまでありました。ブッシュ前大統領の就任式の時にはこうした物はほとんど売られていなかったそうです。



大統領就式会場の現地を訪れましたが、取れた場所は会場からはずっと後方で、遠過ぎて見えず、実際には特設モニターで就任式の様子を見ることができました。

モニターにオバマ氏やヒラリー・クリントン氏が映し出されると歓声はひととき大きくなり、耳が痛くなるほどでした。

オバマ氏の大統領就任に対する人々の熱狂を押し上げている要因として、社会進出が難しいと言われていたアフリカ系アメリカ人のロールモデルになること、同じくアフリカ系アメリカ人のミッシェル夫人がファーストレディになり、女性のキャリア面、家庭面での



ロールモデルになること、また、オバマ氏は演説の巧さからマーティン・ルーサーキング牧師が引き合いに出されますが、キング牧師は人々の平等を説いた人で、「白人と黒人は平等になる」という夢がキング牧師の誕生日(1月19日)の翌日である1月20日にオバマ氏によって叶えられた、ということがあると言われています。